

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会 長 橋本正巳
 新潟県山岳協会
 上越市南城町2-3-37
 TEL 025-524-7215

事務局 諏訪恵一
 長岡市高畑町610-10
 TEL 0258-35-4373

編 集 新山協ニュース編集
 委員会代表 浅野亘寛
 TEL 0258-52-3998

平成18年度

冬山講習会 俎倉山に参加して

松坂良一 (日本山岳会越後支部)



ビバーク訓練をおえて

2月17日から18日にかけて、恒例の冬山講習会が開催された。阿部信一技術指導委員長のもとに、32名の多数参加があり、2日間に渡り、熱心な研修会がおこなわれた。

(i) 17日
 新発田市滝谷の農村婦人の家に一泊し16時30分より19時

哲也講師より。冬山では、天候の激変や、行動の失敗により、思わぬ事態に遭遇する事が誰にでもあ。この時、力尽きる一歩手前に、沈着冷静なビバークがやれるかどうかは、命にかかわる重要な事です。約一時間に渡り、その心構え、必要不可欠な装備、その時、その時の臨機なやり方等についての講義をお聞きした。参加者の中には、新大ワングル部の若きクライマー等に加え、新発田山岳会の高橋正英さんや、畷彩山岳会の坂井厚さん等、百戦錬磨の方々が多数おら

れたので、過去の遭難の生の体験を聞かせて頂く等、有意義なミーティングをする事ができた。

② 雪崩について。松坂良一特別講師より。

雪の山に這入る以上、どうしても雪崩を想定しなければならぬ。つい先週、柵池一体で行われた日本山岳会主催の雪崩講習会に、越後支部より田邊信行さん、松坂良一が参加して、厳しい訓練を体験してきた。雪崩とは何か？どんな時に起こるのか？遭遇したらどうなるのか？埋まった仲間をどうやって掘り出すのか？を勉強する。時間不足のため、あまり掘り下げて勉強する事が出来なかったが、講師の作ってくれたテキストを、家に帰ったらもう一度熟読してもらおうという事で座学をひとまず終了することが出来た。19時からの懇親会では、新潟山岳会のソムリエ達が作ってくださった美味しい豚汁と、頂いた新発田の地酒などが加わり、山の体験談に花が咲き、楽しい一時を味わう事が出来た。

(2) 18日
 朝、冷たい雨の中を7:30、ワカン、スノーシュー、スキー混在で俎倉に出発。今冬は異

常な小雪のため、例年なら5mもある積雪が50cm〜1mしかない。埋まっている筈の沢の岩を踏んで渡ったり、ヤブに手こずって雪をこぎいたりして苦労して登る。

途中、雪の台地上がり、雪崩救助の実技訓練をする。雪崩に出会ったら、①目撃者から良く状況を聞く。②二次発生を考慮して監視員を置く。③全員のビーコンの発信を止めリサーチに切り替える。④雪崩た方向に沿ってさがし、まず遺留品をたどる。③ビーコンで探す。④近かづいたらプローブで探る。④何かに触ったらプローブを抜かずそのままにして置いてスコップで掘り出す。⑤応急手当。救援対処などを即座に行う。各自、ビーコンを操作し、プローブで探索を行う。何人かが、実際に雪に埋まってみる貴重な体験もやってみた。探索の実験豊富な梟警の玉木さんからも、沢山の助言を頂き参考になる。9時、雪崩訓練終了後、勇躍頂上に向かって登るが、相変わずの雨は、ミゾレに変わり苦しいラッセルが続く。その内、ガスで視界も悪くなり時間不足なので、頂上を断念して11時半、バックする事となる。杉林の雪面で

昼食をした後、今日のメーンチームのフォースト・ピバーク訓練を行うことになる。①ツェルトを張り雪で暴風壁。②立ち木を利用した雪穴。③スノーソーで切り出した雪を積むイグルー雪洞等を皆で作る、その中に入つての実体験を行う。所定の訓練を終了して、14時、現地解散で閉会となる。

『阿部指導委員長からの講評』冬山では、突如として強風に襲われたり、一瞬にして地吹雪で視界を奪われることがままある。その時に冷静にふるまいフォースト・ピバークで時を稼ぐという事が、どうしても必要な技術となる。これは何回も実地訓練をせねば出来る技ではない。又、雪山を歩く以上、雪崩は避けるわけには行かない。ピーコンを使つての、瞬時の救出が出来るなければ、雪山に登る資格がない。常々、繰り返し練習し、うろたえないようにしておかなければならない。今日の講習は、その「さわり」に過ぎない。

☆今後、折を見ては練習されることを切に希望する。又、今日、参加しなかった人達も今後は必ず参加していただく事を切に希望する。

25周年記念訪韓をおえて

韓国登山事情

副隊長 佐藤 貞一郎 (荒川ワンダーフォーゲル)

6月に訪韓。登山計画の打ち合わせで、金会長・李副会長と話し合いをし、帰国後も山田智子隊長共々、韓国側と電話やFAXで段取りを進めてきたが、訪韓が近づくにつれ計画が二転三転した。「とにかく現地に対応」との話で出発。

11月12日、トボンサン(740m)登山当日は日本晴れならぬ韓国晴れ。山水画に出て来る様な美しい岩峰である。登山口にて食料と韓国カゼ薬(真露とマッカリ酒)の配給を受ける。金会長「今日はヘリを見る事が出来ます」……との話。山田隊長、矢沢隊員(下越山岳会)、私の三人以外のメンバーは初の韓国で韓流スタイルの登山(ハイスピードで休息ほとんど無し、登り優先関係無し、全山で一応禁煙、休息時は液体カゼ薬を痛飲)には驚いていた。私も何度かの訪韓で韓国の山には登ったが、今回のトボンサンは登山者の多さは、まるで南大門

新潟県山岳協会行事に参加して

浜田 啓子 (越後吉田山岳会)

平成18年11月11日～13日の韓国・昌元山岳会との姉妹山岳会締結25周年記念行事に参加でき、二泊三日の短い期間でしたが、天候にも恵まれ充実満喫する事が出来ました。ホテルで昌元山岳会の温かい歓迎を受け、私はとても初めてお会いする方々とは思えない親近感を覚えました。市場の活気に驚き、徳寿宮では、NHKドラマの、チャングムに出てくる衣装と同じ格好の兵士?に出会い感動しました。夕食をご馳走になった、前々会長宅の壁一面に掛けてある山道具と、奥様の部屋の貝細工(螺鈿)の丁度品には驚きでした。

2日目いよいよ道峰山740m(トボンサン)です。韓国も日本同様、大変な登山ブームのようで、人が居るわ居るわ、夏の富士山のようにでした。お店も沢山あり、まるでお祭りです。登り始めは紅葉の中、楽しい登りでしたが岩山になり、ロープが下がり、狭い岩に鉄柱があるもの、次の鉄柱まで足が届かず、前に居た知らない小父さんが、このババを引っ張ってくれましたが、

足が確保してないのに、待つて待つてと叫んでも言葉が通じず、大騒ぎ。急な岩を登ったり下りたり大変お世話になりました。写真を見て改めてビックリです。岩場を過ぎてからの晩い昼食でしたが、昌元山岳会が用意して下さった、沢山のお寿司、お餅など頂き、ホット一息出来ました。美味しかったです。夕食は、金会長宅でご馳走になり、又ホテルまで送って頂き、有意義な1日が終わりました。

もう帰る日です。自由行動で、市場のおばちゃん達との会話をたのしんだり、買い物や食事などをして飛行場へ。そして帰路へ。

昌元山岳会の皆さんには、お忙しいのに三日間もお付き合いいただき本当に有難うございました。カムサ ハムニダ・感謝、感謝!!

カメラの故障で山の写真が一枚も無く、ガックリでしたが皆様のご好意で、沢山写真を頂き有難う御座いました。近くにあの国境があるとは思えない、とつてもとつても楽しい韓国でした。

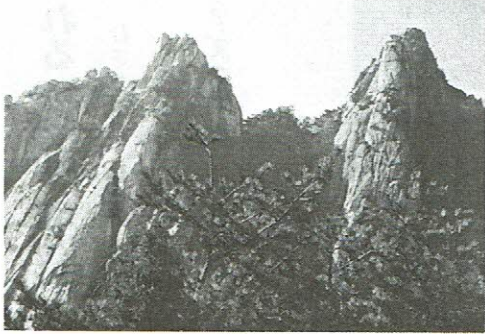
「道峰山」

佐藤 和子（長岡ハイキングクラブ）

「ギャー」、私の叫び声は、あまりの恐ろしさで声にならず、息をすることもしぼらく忘れていました。何と今、私は絶壁の崖の上に立っているのです。ほぼ直角だろうと思われるその上から、下を見下ろしているのです。「夢ではない。……よね。」と自分に言い聞かせながら…。島根で辛いことがあり、それから自暴自棄になって、なかなか立ち上がれない私が、初めて自分をよく見つめた瞬間でもありました。私の様子をみかねた

韓国の金さんが、私より少し前に降りていったのに引き返して来られて「もつと足を右え」「左の足は飛び出た岩のところ」と下から指示を出してくれて、ようやく体が動きだしました。崖の急登などでは先に行つて手を差し出して、あの細い体で引つ張りあげてくれました。金さん、ほんとにありがとう！でも、昼食に金さんが用意して下さった「のりまき」は緊張がとれなかったせ

いか、のどを通りませんでした。金さんごめんさい！私は山の経験も浅く、海外も初めてでしたが、2泊3日のなんと早かったことか！。でも楽しい体験、感動を沢山していただくことが出来ました。最後にこの日韓友好25周年の礎を作ってくださった新潟県山岳協会の方々に感謝し、今回、隊長として私たちを引張つて行つて下さった山田智子様へ感謝し、そして、無事帰つて来られて、新しい一歩を私に踏み出させてくれた仲間



そそりたつ、道峰山

に、感謝の気持ちでいっぱいです。「昌元山岳会」の皆様にも、本当にお世話になりました。

記念訪韓を終えて

佐藤 房子（長岡ハイキングクラブ）

新潟からわずか2時間弱で仁川空港に着き、その広さに先ずビックリ。空港近くの海辺がサングラで一面真っ赤に染まり、美しい光景を見せていた。初めて訪れるソウルはエネルギーが片側8車線もある高速道路に車が溢れ、高層マンション群がどこまでも、どこまでも続いていた。韓国の人口の5割以上がソウルに集中するそれで仕方ないのかと思つたら、一戸建て住宅は人気が無く皆がマンションを好むと聞かされ、日本とは逆の現象だなと妙に感心してしまつた。

トボン山の登山口に登山用品店や飲食店、屋台などがずらつと並び、大型バスが何十台もとまっていたが、登つて納得した。幾つもコースがあるらしい、山は老若男女、人・人で溢れ、中高年の山を見慣れている目には新鮮に映つた。それにしても上部は岩場

賛助会員入会のご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。

浅野巨寛（朝路の会）
杉本 敏（長岡ハイキングクラブ）

*2月21日～3月20日現在のご入会、ご入金状況です。（敬称略、順不同）

新潟県山岳協会
会長 橋本 正巳
理事長 片桐 一夫
総務委員長 七沢恭四郎

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス
日本旅行業協会 登録旅行業 新潟県支部 17番3号
http://www.uks.co.jp

□長岡営業所 〒940-0084 長岡市幸町1丁目3番5号 ☎(0258)33-7123
一般旅行業取扱主任者 佐藤 和子
□新潟営業所 〒950-0916 新潟県山3丁目2番11号 ☎(025)246-2266
一般旅行業取扱主任者 中島 豊

越後の山に見られる **変種植物**

むささび会 加藤 明文

◆ムカシヨモギ属

⑪ ショウジョウアズマギク



▶母種 アズマギク
エリ毛岬 6月4日



▶ショウジョウアズマギク
谷川岳 7月11日

山地の草地に産するアズマギク(母種)は高山に登り、ミヤマアズマギク(glabratus・ほとんど毛の無い)となり、さらに至仏山と谷川岳の蛇紋岩に入って変種が生まれたのが本種です。花は小さく体型はヒョロリとしてますが変種名 heterotrichus は「異形の毛がある」で茎に長短不ぞろいの毛があるのが特徴。しかも茎は暗紫色となり葉は小さく、厳しい蛇紋岩帯に生きる定めなのか。

『やぶ道 ⑩』 転んだら金もらえる？

杉本 敏



山行に少しずつ味がなくなってきた。普段の生活と違う自然の世界へ飛び込んで、鋭気を養おう。スリルを味わってみよう。日常と違う出会いを楽しもう。などと考えて登山靴を履く。ところがどうしたところか、僅かな岩場に鎖が取り付けられ、急登には階段。切れ落ちた場所にはロープの設置。

山は街の公園とは違うんだ。危険箇所が有って当たり前。自己責任の基、山へはいるのが登山者。ところが、登山の基礎講座での歩行技術も身につけていない人達が、暇を持って余して登山するから少しずつおかしくなる。

自分の登山技術の未熟や、へっぴり腰の恐怖を棚上げして、どこそこが危険だ。ロープ・鎖の取付けを：などと陳情する。もつとすこいのは、

どこその階段は高過ぎるなどとのたもう。文句を言う前に下を見る。足が短いだけじゃないか。短くても運動してればしっかりと股を引き上げられるはずだ。

うまくやった人がいた。被害者は自治体。木道を歩いていて、どうしたはずみか転んでしまった。良くみると木道取付け金具が飛び出していたらしい。木道設置の不具合が有ったので転んで怪我をしました。など裁判をしてお金を受け取った人がいた。

誰でも山では転ぶよ。石につまずく。石車に乗る。木の根っこに上がって滑る。下ばかり見ていたら木の枝にゴツツンもある。谷川岳で上の人が落とした石が手首に当たり、見る間に腫れてしまった人もいる。そんなこんなをあまり文句言えないんだ。山は常に五感を働かせて身の安全に神経使って登るんだから。家のかみさんの顔色見ている時より疲れるかも。

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

お知らせ

第62回国民体育大会山岳競技会

新潟県第一次予選会(クライミング)実施要項

1 主催 (財)新潟県体育協会
 新潟県山岳協会
 2 主催 新潟県教育委員会
 妙高市 新潟県教育委員会
 3 主管 新潟県山岳協会
 4 種目 クライミング競技
 (リード競技)
 5 期日 平成19年4月22日(日)
 会場 国際アウトドア専門学校
 〒949-2219
 妙高市原通70
 TEL 0255-82-4450

7 参加資格・種別・年齢基準
 平成19年4月1日時において新潟県に現住所があり、次の年齢基準が満たされている、こと。
 【種別成年男子・成年女子】
 18歳以上であること。
 (平成元年4月1日以前に生まれた人)
 【種別少年男子・少年女子】
 平成元年4月2日以後に生まれて18歳未満であること。

8 参加費 (選手登録料・国民体育大会参加者傷害保険含む)
 成年男子・成年女子 4,000円
 少年男子・少年女子 3,000円

9 日程及び場所
 (1) 受付 12:00~12:20 会場内2Fホール
 (2) 開始式 12:30~12:45 会場内2Fホール
 (3) 競技開始 13:00~会場内クライミングウォール
 (4) 表彰式 17:00~会場内2Fホール

10 競技について オンサイトリード方式(予選・決勝)の個人戦とします。実施の細部は、実施要領によって行います。

11 新潟県代表選手の選出と表彰
 (1) 各種別個人1位から3位までを表彰します。
 (2) 県代表選手の選出は優秀選手の中より新潟県山岳協会が選考します。
 (3) 成年選手の代表選手は秋田国体に、成年女子は少年男子、少年女子の代表選手は北信越国体(福井県)に出場します。

12 申込み先
 〒941-0052

糸魚川市南押上2-3-301
 水落 竜馬
 Tel/Fax 025-553-1059
 別紙参加申込書様式に準じて参加申込書に必要事項を記入し、4月12日(木)まで郵送またはFAXして

13 競技等の問合せ先
 下さい。
 〒949-3241
 上越市柿崎区百木1023
 稲田春男
 Tel/Fax 025-536-3958

第8回 新潟県ジュニアクライミング大会実施計画(案)

1 主催 新潟県山岳協会
 2 後援 妙高国際アウトドア専門学校
 3 主管 新潟県山岳協会ジュニア委員会
 4 期日 平成19年4月22日(日)
 5 会場 妙高国際アウトドア専門学校
 6 参加資格 小学生から中学生
 カテゴリー
 (1) 小学生低学年 (1~4年)
 (2) 小学校高学年 (5・6年)
 (3) 中学生男子
 (4) 中学生女子
 計4カテゴリー

7 日程
 開館 8:30
 受付 8:40~9:00
 開会式 9:00~9:15

8 競技開始 9:30
 競技について
 (1) 競技は数カテゴリー同時進行で行う。
 (2) 2本競技を実施し、順位を決める。同点の場合は決勝を行う。

9 表彰
 各カテゴリー3位まで賞状を授与する。
 10 申し込み方法
 (1) 締切り 平成19年4月18日(水) 必着
 (2) 申し込み先 郵送
 〒949-3211
 上越市柿崎区法音寺
 392-1
 柿崎中学校 今井 浩二
 E-mail: kinai@jome.or.jp
 (3) 申し込み書類 書類の提出をもって申し込みとする。

▲終戦10年のまだ貧しい日本が、各国の批判を浴びながら、南極観測にのりだしたのも長岡藩の米百俵につうじる精神だったに違いない。灯台補給船の任務に就いていた宗谷は大改造を経て初代南極観測船に起用される。5mを超す厚い氷に、小柄な宗谷は後退とローリングしながらの突進を繰り返したという。使命感、悲壮感から、少年の持つ清らかさと、潔さへと気持ちが変わ化したとの隊員の手記が胸を打つ。

▲南極越冬隊はオゾンホールの発見などの他、世界的な成果をあげながら、数々のドラマを生み出した。その背景には身近な県内企業、協会の人も携わっていてなんとも誇らしい。

▲今年で昭和基地設営から50年だ。感動を生んだ宗谷の主機関、2400馬力ディーゼル機関2基は、新潟鉄工の受注と聞く。

(会報編集 浅野)

編集ことうき

▲新聞の切り抜きから南極上空のオゾンホールは縮小、拡大を繰り返しながら拡大方向に向かっているようだ。ラサの上空にも確認されていて、太陽の都といわれるラサは3700mの高地だけに気にかかる。

平成19年度「日本山岳協会山岳共済会」会員募集開始！

1. 「山岳共済会」(入会費無料、年会費1000円)※高校生及び18歳未満は年会費500円です。

- 山や自然が好きな人の相互扶助と自立をめざす仲間の集まり、それが山岳共済会です。
- 山岳共済会は安全登山をめざし、登山技術の向上や普及、遭難予防と対策など各種の事業を支援しております。
- 山岳共済会は日本の山岳遭難捜索保険の草分けです。4万2000人の会員を持つ最大級の山岳共済です。
- 団体傷害保険は山岳共済会が団体契約している保険です。山岳共済会員にならないと加入できません。

2. 団体傷害保険の種類(家を出てから帰るまで、日常の傷害事故も補償しています)

■ 団体傷害保険<山岳登山コース>

通常の登山からロープ、アイゼン、ピッケルを使用する登山まで幅広く補償しています。

傷害時の入・通院費用については、オプションの<入院・通院保険>に加入しないと補償されません。

■ 団体傷害保険<軽登山コース>

ハイキングや軽登山などロープ、アイゼン、ピッケルを使用しない場合の事故に対して補償されます。

■ 団体傷害保険<山岳登山コース>

■ オプション<入院・通院保険>

保険金額	保険タイプ	S	B	C	D	E
死亡・後遺	死亡・後遺	100万円	136万円	269万円	438万円	1100万円
	遭難捜索	100万円	200万円	250万円	350万円	500万円
	賠償	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
保険料	死亡・後遺	610円	830円	1,640円	2,670円	6,710円
	遭難捜索	1,970円	3,950円	4,940円	6,910円	9,870円
	賠償	420円	420円	420円	420円	420円
保険料合計		3,000円	5,200円	7,000円	10,000円	17,000円

保険金額	入院・通院保険	
入院(1日)	入院(1日)	3,300円
	通院(1日)	1,195円
-		-
保険料	入院	1,980円
	通院	2,020円
-		-
保険料合計		4,000円

■ 団体傷害保険<山岳登山コース・中途加入月別保険料>(円単位)

開始月	S B C D E				
	4月	3,000	5,200	7,000	10,000
5月	2,750	4,760	6,410	9,170	15,580
6月	2,510	4,330	5,830	8,340	14,170
7月	2,250	3,890	5,240	7,490	12,750
8月	2,010	3,460	4,660	6,670	11,330
9月	1,750	3,020	4,080	5,830	9,910
10月	1,510	2,590	3,500	5,010	8,510
11月	1,240	2,170	2,910	4,160	7,080
12月	1,000	1,740	2,340	3,330	5,670
1月	740	1,300	1,740	2,500	4,250
2月	500	870	1,160	1,670	2,840
3月	240	430	580	830	1,410

<中途加入月別保険料>(円単位)

開始月	保険料
4月	4,000
5月	3,670
6月	3,330
7月	3,000
8月	2,670
9月	2,340
10月	2,000
11月	1,670
12月	1,330
1月	1,000
2月	670
3月	340

■ 団体傷害保険<軽登山コース>

保険金額	保険タイプ	I	II
死亡・後遺	死亡・後遺	221万円	332万円
	救援者費用	300万円	300万円
	賠償	1億円	1億円
保険料	入院(1日)	2,000円	4,000円
	通院(1日)		1,700円
	死亡・後遺	770円	1,160円
保険料	救援者費用	90円	90円
	賠償	420円	420円
	入院	720円	1,440円
通院			1,890円
合計		2,000円	5,000円

<中途加入月別保険料>(円単位)

開始月	I	II
4月	2,000	5,000
5月	1,830	4,580
6月	1,670	4,170
7月	1,500	3,750
8月	1,340	3,330
9月	1,160	2,910
10月	1,010	2,500
11月	830	2,080
12月	670	1,670
1月	490	1,240
2月	340	830
3月	160	420

■ <軽登山コース>の注意

※軽登山コースの救援者費用は疾病の時には補償されませんのでご注意ください。

■ オプション<海外山岳コース>

※現在、設定中ですのでしばらくお待ちください。

3. 団体傷害保険加入方法(継続会員ならびに団体申込会員)

- 「共済会費+団体傷害保険保険料+オプション保険料」を払い込んでください。

(例) 団体傷害保険Cコースと入院通院保険に5月から加入する場合

共済会費+団体傷害保険保険料+オプション保険料(1,000円+6,410円+3,670円=11,080円)を払い込んでください。

- 共済会新規加入者は先に共済会入会申込(入会金無料)をして入会確認後上記手続きをお願いします。

日本山岳協会山岳共済事務センター

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-7-11-707 月~金 10:00~17:00(土・日・祭日除く)

電話 03-5958-3396 FAX 03-5958-3397 Eメールアドレス sangakuyousai@mbd.ocn.ne.jp